

大槌町社会福祉協議会 ワークフォローおおつち 活動記録

期 日	内 容	説 明
平成23年 3月11日 14時46分	東日本大震災発生	ラジオで情報を聞いた後、職員3名と利用者8名は、一旦は外に避難するが、津波襲来と周辺での火災発生により、施設内でしばらく待機する。
	避難	車に全員が乗り込み、赤浜から吉里吉里地区へ通じる山道を抜け、国道45号線バイパスから町の惨状を確認。事業所に戻ることも断念し、吉里吉里の吉祥寺に避難する。
3月13日	利用者帰宅まで	吉祥寺で2泊ほど避難している間、利用者6名は親戚宅を頼り避難所を離れる。 所長は、残った2名を連れ、避難所になっていた大ヶ口集会所や寺野地区にある弓道場へ行き、利用者の親族を探す。 身寄りのない者1名は、この後数か月、避難所生活を送ることになる。
3月	事業所の休業 他部署への応援	所長は災害ボランティアセンターへ、副所長は、福祉避難所となった「デイサービスセンターはまぎく」の応援に入る。期限付き雇用の職員は解雇となり、利用者は自宅待機となる。
3月下旬	利用者の安否確認	職員1名が各避難所を回り、安渡地区にあった福祉作業所の利用者15名の安否確認を行う。全員無事で、5名が他市町へ転居したことを確認する。
3月 ～7月31日	事業所の避難所提供	事業所を再開するまでの間、施設を地域の避難所として提供する。 避難者は、多い時で約50名受入れる。
8月1日	事業所の再開準備	職員1名が事業所を再開するための準備に入る。
8月17日	事業所の再開	利用者5名、職員2名で、作業の打合せと再開のための準備をする。
8月19日	作業の再開	利用者6名、職員2名で、震災前からの受託作業の部品組立て作業を再開する。